

■令和7年度稻沢市制記念式典

1958年昭和33年11月1日に稻沢町が市制施行(人口5万514人)し稻沢市が誕生して67周年を迎える市制記念式典が挙行されました。鈴木は県会を代表し、叙勲・褒章の栄に浴された皆様(8名)、名誉市民憲章の称号を贈呈された紺綬褒章(5回目)にも輝く久納昇辰様、市政功労者表彰の皆様(代表謝辞の服部礼美香市議、津田市議、志智市議、小沢消防団長の4名)、公益功労表彰の皆様(20名3団体)に敬意と感謝をお伝えし、本年が稻沢市と祖父江町と平和町が合併し新しい稻沢市が誕生して20年の節目となることから、先人の皆様のご努力に感謝申し上げ、市民の皆さんに互いに理解を深め敬意をもって取組んでこられた事に敬意を表し、未来に向けて稻沢市の更なる発展をご祈念申し上げました。



たゆまぬ努力をしてこられた商工会議所終身名誉会頭久納昇辰様に名誉市民憲章を贈呈
日本熱傷ボランティア協会(上野会長)の感謝状贈呈に同行

■トピックス

○荻須高徳リトグラフ展

荻須記念美術館でリトグラフ展が開催され、荻須画伯が晩年の約20年間に制作したリトグラフ全166点の7割以上約120点を前後期に分けての特別展が開催されました。共催は荻須画伯に縁のある毎日新聞社、後援は昨年に続きZIP-FM、特別協力として素敵な図録を作成してくれた青幻舎です。



○令和7年度稻沢市消防団観閲式

稻沢市消防団観閲式が行われ、雨模様が続く中でしたので分列行進や一斉放水などは実施できませんでしたが、整然と整列した分団の皆さんの真剣な表情を見ると崇高な消防精神による使命感や責任感の強さを拝察し地元議員を代表し皆さんと支えて頂いているご家族に敬意と感謝を表しました。



○第20回平和まつり

平和支所地区まちづくり推進協議会(伊藤浩樹会長)が主催する平和まつりが秋晴れの中開催され、農協朝市コーナーやパパイヤクラブ、稻沢警察署、消防団、防災ボランティア稻沢、一五会さん等々、茶道クラブではお抹茶を頂いたり、緑風館高校やカントリートールBLUEを見学させて頂きました。



○そぶえイチョウ黄葉まつり

快晴のなか第28回のそぶえイチョウ黄葉まつりが、実行委員会会長澄川祖父江町商工会会長はじめ関係の皆様のご尽力により盛大に開催されました。オープニングは山崎地蔵太鼓の迫力あるパフォーマンス、色々な出店もあり、また当日は展望台の方で旅サラダの中継もありの大賑わいでした。

左から津田副議長 澄川会長 木全議長 鈴木 知事 市長 吉川市議 田中前会長



○稻沢LCメインアクティビティー

稻沢ライオンズクラブ(会長L佐藤栄司)で「お笑いコミュニケーション講座」を名古屋文理大学のフレッシュマンセミナーの一環として開催。講師は稻沢LC特別会員の吉本興業L田中哲也情報メディア学科とフードビジネス学科の一年生の皆さんと双方向(時には先生も犠牲に)の楽しい授業が行われました。



○第18回稻沢市民空手道大会

稻沢市空手道連盟(松浦久数会長)主催による大会(市民体育大会)が開催され鍛錬の成果を披露してくれました。鈴木は稻沢市空手道連盟名誉会長として礼に始まり礼に終わる空手道の素晴らしさや来年のアジア競技大会の競技種目となっていることなどを紹介しながら選手の皆さんにエールを送りました。



愛知県議会報告

あいち民主県議団

J-PRESS

責任者:鈴木純 名古屋市中区三の丸1-2
代表電話 052-961-2111 FAX 052-961-3766

国府宮はだか祭 北名古屋市 3月1日

大鏡餅揚げは2月23日 大鏡餅奉納は2月28日

うまどし

ひのえうま

さて、2026年は午年、それも丙午の年です。この年は勢いとエネルギーに満ちて活動的になると言われています(女性の迷信も昔はありました)。愛知県はいよいよアジア・アジアパラ競技大会の開催年です。ご尽力頂いている皆様すべての思いが伝わり素晴らしい平和とスポーツの祭典となりますように!



愛知県国際展示場 Aichi Sky Expo で開催されたあいち技能五輪・アビリティック 2025 のイメージキャラクターのアイチータ



STEP21

愛知県議会議員
(稲沢市選出)

SUZUKI

すずき純



第63回技能五輪全国大会・第45回全

国アビリティックの合同開会式に、全国47

都道府県の選手団が愛知県国際展示場

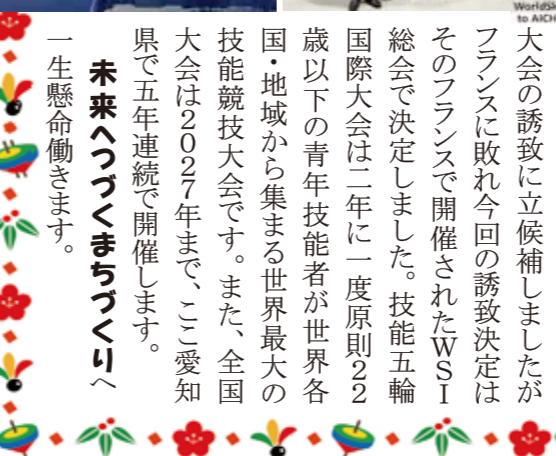
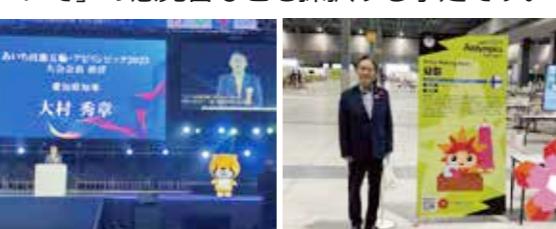
Aichi Sky Expo に一堂に介绍了。

モノづくりの愛知県は21年連続で最優秀技能選手団賞を獲得するなど優秀な成績を収めました。技能五輪は2028年日

本・愛知開催の技能五輪国際大会(日本で

は1970東京1985大阪2007静岡に

次いで四回目の開催)の、アビリティックは2027年福井・ラ・ヘルシンキ開催の国際アビリティックの選考を兼ねています。



2028年技能五輪国際大会

第63回技能五輪全国大会・第45回全國アビリティックの合同開会式に、全国47都道府県の選手団が愛知県国際展示場Aichi Sky Expo に一堂に介绍了。モノづくりの愛知県は21年連続で最優秀技能選手団賞を獲得するなど優秀な成績を収めました。技能五輪は2028年日本で本・愛知開催の技能五輪国際大会(日本では1970東京1985大阪2007静岡に次いで四回目の開催)の、アビリティックは2027年福井・ラ・ヘルシンキ開催の国際アビリティックの選考を兼ねています。モノづくりの愛知県は21年連続で最優秀技能選手団賞を獲得するなど優秀な成績を収めました。技能五輪は2028年日本で本・愛知開催の技能五輪国際大会(日本では1970東京1985大阪2007静岡に次いで四回目の開催)の、アビリティックは2027年福井・ラ・ヘルシンキ開催の国際アビリティックの選考を兼ねています。

■アジア・アジアパラ競技大会推進特別委員会県外調査

第25回夏季デフリンピック競技大会東京2025の運営などについて調査しました。デフリンピックは聴覚障害を持つ皆さんのオリンピック(パラリンピックにはろうあ者の競技種目がありません!)で、4年に一度開催され、原点は1924年にパリで開催された国際サイレント大会です。今回日本では初めての開催であり第1回から100周年となる記念大会です。

80か国・地域から3000人規模の選手団(男性2014女性1067)、19会場、21競技、ボランティアは3,500人で、東京2020のボランティアレガシーネットワークに大いに助けられたとの話は愛知県も目指すべきところです。大会経費は130億円、サポーターは様々な形(小口もOK(営業努力)、PR効果よりCSR)で160社などの話をデフリンピックスクエアで伺い、五輪会場のアクアティクスセンターでは選手やVIPの動線、スタートの聴覚障害者に対する配慮、施設整備など実際の競技会場の運営方法等について聴取しました。



●アクアティクスセンターのプレス室に隣接するインタビューコーナー ●選手紹介のボードには稲沢の吉田琉那さんの名前も ●文化の交流プログラムや記念撮影もいたる所で

■あいち民主県議団研修会－共生するAIロボット



ヒト×AI×ロボット…共に働く未来のリアル

あいち民主県議団の研修会で「共生するAIロボット「Julie(ジュリー)」の育成から紐解く新たな価値創造」と題して、株式会社デンソーの福原康平課長に講演を頂きました。ジャイロプロセス(スピーディーかつ柔軟に開発を進める手法)や付加価値から新価値の創造、共感から行動変容など自分からすると次のフェーズ(レベル)の取組の話でした。特に美しい所作などIT・AI×N領域での共創、人らしさ(Art)×テクノロジー(Tech)を再定義する文化フェスに取組たいなど…ヒト×AI×ロボット…共に働く未来のリアル 技術を超えた領域の世界。

■日光川水系河川改修の愛知県要望等

日光川水系河川改修事業の整備促進に関する県要望会が開催され地元議員として出席しました。日光川水系改修促進期成同盟会の関係市町村は9市2町1村(名古屋市・一宮市・津島市・江南市・稲沢市・愛西市・清須市・弥富市・あま市・大治町・蟹江町・飛島村)で会長は加藤飛島村村長です。日光川は延長41km、流域面積約300km²の県内最大の二級河川で、流域人口は約100万人、流域の約3分の2は雨水をポンプ排水に頼らざるを得ず下流部は国内最大の海拔ゼロメートル地帯です。また、流域には自動車関連産業や航空宇宙産業等の産業が集積していて製造品出荷額約2,226億円、従業員数約7万人であり、年超過確率降雨1/5規模の降雨に対して想定被害額約860億円、想定浸水被害9,588戸を解消するために整備計画を推進しています。



■稲沢市・稲沢市歯科医師会8020表彰式

稲沢市歯科医師会主催、稲沢市共催による令和7年度稲沢市・稲沢歯科医師会8020表彰式が開催され、対象の160名を代表し菅沼重夫様が表彰状を授与されました。8020運動は愛知県から始まった運動で「80歳で20本以上の歯を保とう」というもので、鈴木も皆様のオーラルケアの取組に敬意を表し、これからも心豊かに健やかな日々をお過ごし頂くようご祈念申し上げるとともに、竹市会長はじめ稲沢市歯科医師会の先生方の地域の健康づくりへのご尽力に敬意と感謝を表しありの言葉を述べさせて頂きました。



■連合愛知尾張南地協最賛街宣

10月18日から愛知県の最低賃金が1,140円に改定されることから地協の街頭宣伝活動に参加しました。1973年に愛知県の最賃が新設された当時は168.75円、日額が廃止された2002年は681円、そこから令和元(2019)年までの引上げ幅は0~28円でした。今回の引上げ額は63円と昨年度の50円に続き過去最大を更新しました。物価上昇を上回る賃金上昇となるように経営者側には生産効率向上への施設整備などに積極的に取り組むとともに中小規模事業所に対する行政(国)側の経営支援の充実が必要です。



■国営総合農地防災事業農林水産省等提案

新木津用水路の改修促進、「濃尾用水第三期地域」の地区調査への移行など国営総合農地防災事業「新濃尾(二期)地区」の促進に関する提案活動を濃尾用水協議会・各国営事業新濃尾地区促進協議会の皆さんと農林水産省へ行い、翌日は国営農業水利事業促進東海協議会としても提案活動を行い、国会議員の皆さんにも要望し、同様の提案活動を東海農政局、新濃尾農地防災事業所、愛知県農林基盤局に行いました。

また、濃尾用水協議会の新田原井堰の視察には新濃尾農地防災事業でお世話になった川中所長にもお会いしました。



●農林基盤局下平局長へ ●東海農政局秋葉局長へ ●農林水産省渡邊洋一農林水産審議官にご説明 ●中国四国農政局へ着任された川中所長と